

SG3600LM/LG/LJ
V8.3
セットアップ手順書

2019年 10月 1版

目次

1	はじめに.....	3
2	電源をONにする前に.....	3
2.1.	SGのネットワークインタフェース.....	3
2.2.	管理用PCの準備.....	3
3	初期設定の実行.....	4
3.1.	初期設定画面への接続.....	4
3.2.	初期設定画面へのログイン.....	4
3.3.	初期設定.....	5
4	かんたん設定の実施.....	7
5	再インストール手順.....	7
6	マザーボード交換時の手順.....	7
7	PowerChute BusinessEdition (PCBE).....	7
8	総合行政ネットワーク (LGWAN) への接続 (SG3600LM, SG3600LGのみ).....	8
9	その他の設定について.....	8
9.1.	ファイアウォールやその他サービスの設定について.....	8
9.2.	ftp複数ポートの設定方法.....	8
9.3.	管理者用パスワードの変更.....	9
9.4.	SGのパッチの適用.....	9
9.5.	SG以外のパッチの適用.....	10
10	注意事項.....	11

1 はじめに

本書は、SG3600 V8.3(以下、SG)の初期設定手順について記載しています。本製品をお使いになる前に必ずお読みください。

お使いの際は、以下の手順に従いSGの初期設定を行ってください。

尚、下記を参照いただき、本マニュアルより最新のマニュアルがございましたら、最新のマニュアルを参照ください。

<https://www.support.nec.co.jp/View.aspx?id=3170100218>

【InterSecVM/SG v4.0以前】 【SG3600】 製品マニュアル

2 電源をONにする前に

SGの初期設定はネットワークを介して行います。初期設定を行うためのネットワークインタフェースについて説明します。

2.1. SGのネットワークインタフェース

HWにつきましては購入時のSGのセットアップ仕様書をご参照ください。

SG3600LGおよびSG3600LJでネットワークインタフェース(PCIボード)を増設する場合は装置(Express5800)のユーザーズガイドも併せてご参照ください。

2.2. 管理用PCの準備

初期設定は、別途用意いただくWeb接続可能なWindow管理用PC(以下、管理用PC)からWebブラウザを介して行います。出荷時に設定されているSGのIPアドレスと同じネットワークのIPアドレスを管理用PCに設定してください(例えば、192.168.250.1/255.255.255.0)。管理用PCはSGの内側ネットワークインタフェースとLANケーブルで接続してください。

SGの出荷時設定は次のとおりです。

内側インタフェースのIPアドレス	: 192.168.250.251
内側インタフェースのネットワークマスク	: 255.255.255.0

[注意]ハブを介して接続する場合は、SGの上記IPアドレスと他機器のIPアドレスが重複しないようご注意ください。

Management Consoleへ接続する際、ご使用になるWebブラウザは、Internet Explorer(日本語版・Windows版)が必要です。

Internet Explorerは、[ツール]→[インターネットオプション]で以下のように設定してください。

- ・[セキュリティ]→[インターネット]を選択し[レベルのカスタマイズ]を押します。
 - [スクリプト]→[アクティブ スクリプト]→「有効にする」を選択します。
 - [その他]→[ページの自動読み込み]→「有効にする」を選択します。
- ・[詳細設定]→[セキュリティ]→「暗号化されたページをディスクに保存しない」のチェックを外します。
- ・[プライバシー]→[設定]を「中」以下にします。

また、Internet Explorer 8~10の場合は、[ツール]→[互換表示設定]にて、SGが互換性表示の対象となるよう、“互換表示に追加したwebサイト”に3.3(3)または(4)で設定するSGのIPアドレスを追加してください。

Internet Explorer 11の場合は、[ツール]→[互換表示設定]にて、SGが互換性表示の対象とならないように以下のように設定してください。

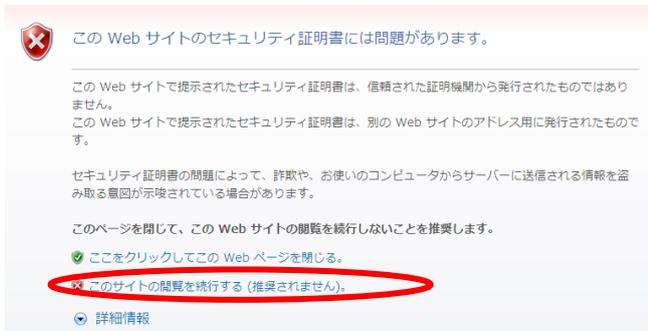
- ・“互換表示に追加したwebサイト”にSGのIPアドレスを含めないようにします。
- ・“イントラネット サイトを互換性表示で表示する”をチェックしており、SGがイントラネット サイトに含まれる場合は、SGに接続時は本チェックを無効にします。

3 初期設定の実行

SGを起動し、管理用PCのWebブラウザからSGへ接続し、ログインを行ってください。

3.1. 初期設定画面への接続

管理用PCのWebブラウザで以下のURLを指定し、初期設定画面に接続してください。



セキュリティの警告が表示されますが、[このサイトの閲覧を続行する]を選択します。

接続できない場合、管理用PC側から、ping コマンドなどを使用して通信状態を確認してください。

[実行例] C:¥> ping 192.168.250.251

SGと通信できない場合は、設定されているネットワークと接続できるよう、管理用PCのネットワーク設定やLANケーブルの接続状態を確認してください。

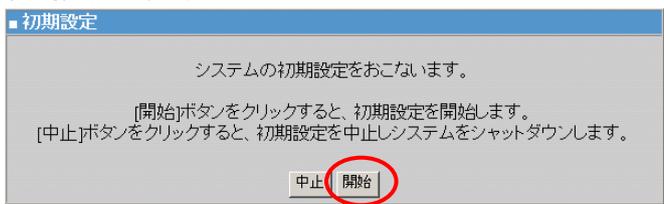
3.2. 初期設定画面へのログイン

初期設定画面に接続すると、ユーザ名とパスワードの入力ダイアログが表示されますのでユーザ名、パスワードを入力してログインします。ログインユーザ名は「root」です。パスワードは製品添付の「rootパスワード」を参照ください。

[注意]ユーザ名、パスワードは、大文字小文字を区別します。

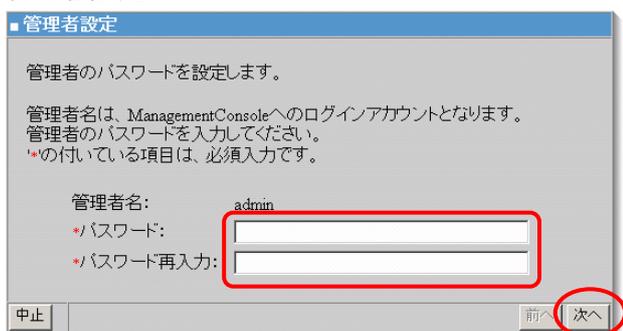
3.3. 初期設定

(1) 初期設定の開始



ログインが成功すると左の画面が表示されます。
[開始] をクリックし、初期設定を実施します。
初期設定を中断したい場合は、各設定画面の [中止] をクリックします。

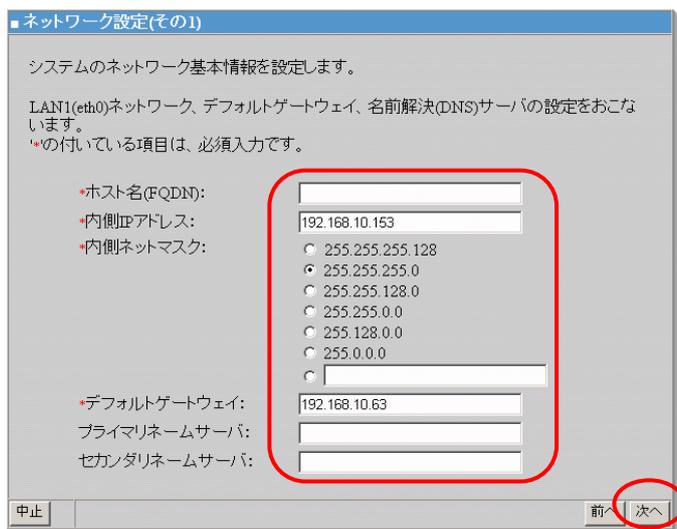
(2) 管理者設定



管理者のパスワードの設定を行います。
システム管理者のアカウントは“admin”（固定）です。
システム管理者用のパスワードを「パスワード」「パスワード再入力」に入力して [次へ] をクリックします。
システム管理者名のパスワードの指定は必須です。

[注意] システム管理者のアカウントは、初期設定完了後、Management Console画面の[リモートメンテナンス]より変更できます。

(3) ネットワーク設定（その1）



お客様の内部ネットワークに合わせたネットワーク情報の設定を行います。
表1の設定内容を入力し、[次へ(N)] をクリックします。

[注意] 項目名の先頭に ‘*’ があるものは必須入力です。

表1 ネットワーク設定（その1）設定項目

項目名	設定内容
* ホスト名 (FQDN)	FQDNを設定します
* 内側IPアドレス	内部ネットワークのIPアドレスを設定します
* 内側ネットマスク	ネットワークマスクを設定します
* デフォルトゲートウェイ	デフォルトゲートウェイを設定します
プライマリネームサーバ	プライマリネームサーバを設定します
セカンダリネームサーバ	セカンダリネームサーバを設定します

(4) ネットワーク設定 (その2)

表2の設定内容を入力し、「操作可能ホスト」は、運用上の設定です。

設定内容を入力し、[次へ] をクリックします。

[注意]先頭に「*」があるものは必須入力です。

表2 ネットワーク設定 (その2) 設定項目

項目名	設定内容
* 外側IPアドレス	外部ネットワークのIPアドレスを設定します
* 外側ネットマスク	ネットワークマスクを設定します
* 管理者メールアドレス	管理者メールアドレスを設定します
* 操作可能ホスト	運用時にManagement Consoleに接続する管理用PCのIPアドレスを設定します。 初期設定完了後、Management Console画面の[リモートメンテナンス]より追加することも可能です。

(5) 初期設定内容確認

■ 管理者設定	
管理者名:	admin
パスワード:	*
■ ネットワーク設定(その1)	
ホスト名(FQDN):	SG3600LM.sg.com
内側IPアドレス:	192.168.10.153
内側ネットマスク:	255.255.255.0
デフォルトゲートウェイ:	192.168.10.63
プライマリネームサーバ:	未設定
セカンダリネームサーバ:	未設定
■ ネットワーク設定(その2)	
外側IPアドレス:	192.168.2.153
外側ネットマスク:	255.255.255.0
管理者メールアドレス:	root@localhost
操作可能ホスト:	192.168.10.1

入力した設定内容を確認してください。

設定内容に間違いがなければ、[次へ] をクリックしてください。

間違いがある場合は、[前へ] をクリックして変更対象画面に戻り修正してください。

(6) システム再起動

設定を有効にしてシステムを運用可能な状態にするため、システムを再起動します。

[システムを再起動する] をクリックしてください。[システムを停止する] をクリックした場合、システムは停止状態となります。

以上で、初期設定は終了です。

4 かんたん設定の実施

下記の操作を行いましたら、Management Consoleの「ファイアウォール>かんたん設定」を実施下さい。かんたん設定の内容に変更がない場合は、「次へ」ボタンを選択して、進めて下さい。

- ・初期設定。但しリストアを行う場合は「システム基本情報のリストア」後のみ実施。
- ・システム基本情報のリストア
- ・基本設定の再起動必須項目を変更しSGを再起動
- ・冗長化サービスの必須項目を変更

5 再インストール手順

SG3600を出荷時の状態にする手順です。

現在使用中のSG3600のデータをバックアップリストアする場合は、「SG3600 移行手順書」を参照ください。

- (1) SG3600のインストール媒体 (DVD) をSGにセットします。
※インストールプログラムがインストール先ディスクとして誤認識する場合があります。USBメモリなどが接続されている場合は、取り外します。
- (2) Management Consoleの「システム>システムの再起動」を選択します。
- (3) 起動時にNECのロゴの画面でF2キーを押下します。
※複数回NECのロゴが表示される場合はBIOSの画面が表示されるまでNECのロゴの画面でF2キーを押下します。
- (4) BIOS画面が表示されましたら (背景ブルーとグレーの画面)、「BOOT」タブ画面にてBoot Option PriorityのBoot Option#1にDVDを指定します。
- (5) F4キー (SAVE & EXIT) を押します。
- (6) インストールが開始されます。(背景ブルーの画面)
※インストールが開始されない場合は再度、再起動を行ってください。
- (7) インストールが自動的に進み、Completeというタイトルの画面が表示されます。
- (8) Rebootボタンを選択し、エンターキーを押下しますとシステムが再起動し、SG3600のインストールが完了します。
- (9) 「3 初期設定の実行」を参照し設定ください。

6 マザーボード交換時の手順

マザーボード交換時は下記の手順を実施ください。

1. SGにディスプレイとキーボードを接続します。(コンソール接続)
2. ログイン画面が表示されますので、rootで、パスワードを入力してください。
3. NICのMACアドレスの再設定の為下記のコマンドを入力ください。
echo "" > /etc/udev/rules.d/70-persistent-net.rules
4. 再起動の為下記のコマンドを入力ください。
reboot

7 PowerChute BusinessEdition (PCBE)

PCBEをご使用になる場合のSGのPowerChute導入手順説明書、及び、PCBEに付属のドキュメントに従って、PCBEエージェントをインストールしてください。尚、PCBEはSGに含まれません。ご使用になる場合は別途ご購入ください。

8 総合行政ネットワーク（LGWAN）への接続(SG3600LM, SG3600LGのみ)

SGを総合行政ネットワーク（LGWAN）に接続して監視サービスをご利用の場合、管理用PCからSGのManagement Consoleに接続し、サービス画面から以下の変更を行ってください。

- (1) 「稼働監視機能」の「(再度)起動」の「起動」をクリックしてください。
- (2) 「OS起動時の状態」を「起動」に変更して、「設定」をクリックしてください。

LGWAN向け監視サービスをご使用になる場合は、別途サービスをご購入ください。

9 その他の設定について

9.1. ファイアウォールやその他サービスの設定について

ファイアウォール機能やその他サービスの設定については、SGのヘルプをご参照ください。ヘルプはバックアップDVD-ROMの中に格納されており、次のHTMLファイルから表示させることができます。

<バックアップDVD-ROM>:/manual.html

9.2. ftp複数ポートの設定方法

本節では、InterSecVM/SGIに登録するファイアウォールルールに指定するftp通信に於いて、ftpサーバの制御ポートがデフォルトの21ではないときの設定手順を説明しています。

例として、以下の制御ポートを設定するときの手順を示します。

ftpサーバの制御ポート番号
21
10021
20021

- (1) [ファイアウォール > 詳細設定 > ルール設定(サービス)]画面で、以下のユーザ定義サービスを追加してください。

名前) FTP

メンバ) tcp/21, tcp/10021, tcp/20021

- (2) システム再起動をすることにより設定が反映されます。

9.3. 管理者用パスワードの変更

お買い上げいただいたInterSecVM/SG には、出荷時に管理者用及びrootパスワードが設定されております。これらのパスワードは製品と一緒に紙で添付しております。

セキュリティの為、初期期導入設定後、必ずrootパスワードを変更してください。

●rootパスワードの変更方法

Management Console にログインし、[システム]-[rootパスワード変更]画面にて変更

9.4. SGのパッチの適用

下記のHPを参照しパッチを適用ください。

<https://www.support.nec.co.jp/View.aspx?NoClear=on&id=3140107575>

【SG3600】リリースパッチ一覧 v8.3

9.5. SG以外のパッチの適用

SG3600を搭載しておりますExpress5800に関しまして、各種ツール、ユーティリティ、ドライバ等の修正モジュールを公開しております。尚、2019/8/27時点での最新版はSGに取り込んでおりますが、それ以降のパッチにつきましては、EXPRESS5800のマニュアル、及び下記のHPを参照し、必要に応じてご適用ください。

- ESMPRO/ServerAgent または ESMPRO/ServerAgentService
 - ・ ESMPRO/ServerAgent または ESMPRO/ServerAgentService (Linux版) ページ
<https://www.express.nec.co.jp/Linux/dload/esmpro/index.html>

- kdump-reporter
 - ・ [Linux] 情報採取ツール kdump-reporterのリリース
<https://www.support.nec.co.jp/View.aspx?id=3140100097>

- actlog
 - ・ [Linux] 情報採取ツールactlogのリリース
<https://www.support.nec.co.jp/View.aspx?id=3140000182>

- オプションデバイス/オンボードデバイスドライバー
 - ・ Linux ドライバ情報一覧
<https://www.express.nec.co.jp/linux/supported-driver/top.html>
→19/7/31時点ではExpress5800/R120g-1Mへのパッチは◎(インバウンド)となっているため、
別途の適用は不要です。

- Universal RAID Utility
 - ・ Universal RAID Utility/RAID通報サービス・Smart Storage Administrator サポート情報リスト
<https://www.support.nec.co.jp/View.aspx?id=3140103134>

- 装置情報収集ユーティリティ
 - ・ 装置情報収集ユーティリティ (Linux版) ダウンロードページ
https://www.express.nec.co.jp/linux/dload/ezclct/ezclct_menu.html

- BIOS等その他
 - お客様がご利用されているEXPRESS5800の“修正情報・ダウンロード”を参照ください。
 - Express5800/R110d-1M
https://www.support.nec.co.jp/ListProductSearchContents.aspx?NoClear=on&idFlag=1&idList=EXM150000883&P_CLASS=HW
 - Express5800/R110e-1M
https://www.support.nec.co.jp/ListProductSearchContents.aspx?NoClear=on&idFlag=1&idList=EXM140000132&parentId=EXS130000002&P_CLASS=HW
 - Express5800/R120f-1M
https://www.support.nec.co.jp/ListProductSearchContents.aspx?NoClear=on&idFlag=1&idList=EXM140000643&parentId=EXS130000002&P_CLASS=HW

10 注意事項

- (1) 同じネットワーク内で同時にインストールを行った場合、初期設定用IPアドレスの重複が発生することがあります。その場合には、intersec-init-cを実行して、IPアドレスが重複しないように設定を行ってください。
- (2) SGは、毎日午前0時にログのローテート処理を実施します。その為、その時間帯にSGを停止されると、ログのローテート処理が実施されずログが肥大化し、システム異常につながる可能性があります。よって午前0時から午前1時の間は、SG3600を停止しないでください。尚、ローテート処理の時間変更はできません。

商標について

Windows、Internet Explorerは、米国 Microsoft Corporationの米国およびその他の国における登録商標または商標です。その他、記載の会社名および商標名は各社の商標または登録商標です。

© NEC Corporation 2019

NECの許可なく複製・改変などを行うことはできません。